

登録コード	L1841600	開講年度	2026				
担当教員	豊岡 康史			副担当			
授業科目	東洋史発展演習VI						
英文授業名	Asian History: Advanced Seminar VI						
授業タイトル	東洋史発展演習						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	水曜・5時限
講義室	人文501演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前対象】過去の英知の批判的継承のうえに 立って創造的な未来を切り拓く開拓力			⇔	学術書の内容を把握して、批評を行うことができるようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。 【開拓力・企画発想能力】			⇔	学術書の内容を把握して、批評を行うことができるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	歴史学の知見に基づく書籍を、担当者ごとに取り上げ、内容について批判的にレビューを行い、それぞれの関心対象についての研究史上に位置付ける。						
授業計画	第1回 ガイダンス／担当書籍の選定 第2回 陳來幸『近代中国の総商會制度：繋がる華人の世界』（京都大学学術出版会、2016年）の論評 第3回 西里喜之『清末中琉日関係史の研究』（京都大学学術出版会、2005年） 第4回 青山治世『近代中国の在外領事とアジア』（名古屋大学出版会、2014年） 第5回 谷井陽子『八旗制度の研究』（京都大学学術出版会、2015年） 第6回 中西竜也『中華と対話するイスラーム』（名古屋大学出版会、2013年） 第7回 塚瀬進『マンチュリア史研究』（吉川弘文館、2014年） 第8回 田中比呂志『近代中国の政治統合と地域社会』（研文出版、2010年） 第9回 渡辺美季『近世琉球と中日関係』（吉川弘文館、2012年） 第10回 藤波伸嘉『オスマン帝国と立憲政』（名古屋大学出版会、2011年） 第11回 奈良岡聰智『対華二十一条要求とはなんだったのか』（名古屋大学出版会、2015年） 第12回 野田仁『露清帝国とカザフ＝ハン国』（東京大学出版会、2011年） 第13回 李正熙『朝鮮華僑と近代東アジア』（京都大学学術出版会、2012年） 第14回 彭浩『近世日清通商関係史』（東京大学出版会、2015年） 第15回 総括 授業アンケート 定期試験なし ※受講生の研究テーマに応じて変更される場合がある。						
成績評価の方法	各回担当の報告内容(60%)と毎回の議論参加のありかた(40%)によって歴史学にかかわる研究書を取り扱う技法を習得したか評価する。						
成績評価の基準	毎回の授業における報告・発言に、教員が感心するようなアイディアと知識があれば、「卓越している」と判断する。 取り上げた書籍の内容を理解していることが確認できれば、「その水準にある」と言える。 報告内容が書籍の読解に基づいていないと判断される場合には、評価は著しく下がる。						
事前事後学習の内容	報告準備にはしっかりと時間をかけること。他の担当者が取り扱う書籍についても目を通すことが望ましい。						
履修上の注意	【授業情報の共有をSLACKで行うので、事前にメールで教員にご連絡ください】 書籍の選択・調達についてはかならず教員に相談すること。勝手に非学術的な書籍を選定すると、レジュメを提出した段階で却下する場合がある。						
質問、相談への対応	授業の前後、メール（toyooka@shinshu-u.ac.jp）で受け付ける。						
教科書	指定しない						
参考書	指定しない。図書館や資料室の書籍を積極的に手にとって読み進めていただきたい。						